
灯火

ゆん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

灯火

【Nコード】

N0206T

【作者名】

ゆん

【あらすじ】

暗闇のなかでのみ存在が表に出ることが出来る光とはなんだろう
私はなんだろう・・・

闇夜の晩、

前を向いても上を見上げても真っ暗な闇が広がっている

そこに光は無い

月は雲に覆いかぶさり一滴の光も漏らさない

光は闇の前には無力である

しかし強い光の前では弱い光は存在を主張することも出来ない

弱い光は闇の中でしか存在出来ない

闇の存在は私のような弱い光の存在を許容する

そして光ることを忘れた時自らも闇の一部となる

私もいつか闇となるのだろうか

それはいけない事なのだろうか？

存在を許容してくれる唯一の者になることがいけない事なのだろうか？

光とはなんなのだろうか？

もし光が正義なのならば

強い正義は力無き正義の存在を許さない

それでも太陽は常にどこかを圧倒的な光で照らす

常にどこかで弱い光の存在は消える

そしてまた巡り来る闇によって私は存在を認められる

私は太陽の前で光っていることが今何よりもつらい

誰も私を見ない

誰も私に気づかない

そしていつか私は光ることを辞めるのだろう

しかしもう少し続けてみよう

いずれは闇の一部になる運命と知りながら

それでも心のどこかで期待しているのだろう

いつか誰かに見つけてもらいたいと

叶わぬ夢と諦めるのはいつでも出来る

ならばあと少し頑張ってみよう

誰かに気づいてもらえる努力をしてみよう

光を失った時に後悔しないために

今をあと少しだけ・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0206t/>

灯火

2011年10月8日23時33分発行